

高校生が議会を身近で体験

～熊本県立天草高等学校1年生が第4回定例会のようすを傍聴～

第3回定例会に引き続き、12月16日、午前と午後に分かれて、1年2組と4組の生徒の皆さんが本会議(一般質問)のようすを傍聴しました。

生徒の皆さんは、今回も議員と執行部との活発な議論を真剣に聞き入っていました。

ここでは、そのうち2人の感想を紹介します。



◀傍聴のようす

▲1年2組の生徒の皆さん



1年2組
かねこまゆ
金子 真由 さん

子育てや施設の整備、文化財の保存などの議論を聞いて、改善点や今後の展望が明確になっていくのがおもしろかったです。議員の皆さんは市民のことをよく考えているのだと感じました。

発言をする際、自分の体験や具体例を述べていて、とても分かりやすく、効果的だと思ったので、私も取り入れようと思いました。



1年4組
むらかみともあき
村上 智昭 さん

市議会の議論の中で、私が一番印象に残ったのは「天草の治水工事」についてです。「いつゲリラ的に大雨が降るか分からないので、訓練を設けて危機意識を持ってもらう」という意見に納得しました。市民の健康、安全、生命に関わることを決めるので、今回の傍聴で重要性を認識できました。自分も18歳になったらよく調べて投票しようと思います。

編集後記

14ページに掲載しましたとおり、広報広聴委員会では、木津川市(京都府)、甲賀市(滋賀県)へ行政視察を行いました。

両市議会との意見交換では、あまくさ市議会だよりは、全体的に文字数が多いため、写真やイラストを多く取り入れ、一般質問は内容を絞って掲載した方がよいなどの意見をいただきました。

そこで、今号から一般質問は文字数を制限することで簡潔に整理し、必ず写真やイラストを入れ、詳細については、市ホームページ内にあるインターネット中継の録画映像へリンクするQRコードを掲載しました。

また、開かれた議会への取り組みとして、本会議や常任委員会などへの各議員の出席状況もあわせて掲載しています。

今後も、より多くの市民の皆さまに手に取って読んでいただけるような紙面づくりに向けて取り組んでまいります。

(門口 徹)

広報広聴委員会



連池 良正



副委員長
下田昇一郎



委員長
柴田 誠



門口 徹



五通 俊作



鶴戸 継啓



濱洲 大心